

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 8日

大分県知事

殿



提出者

住所 大分県宇佐市大字下乙女403番地

氏名 株式会社 カジワラファーム

代表取締役 梶原 康太郎

電話番号 0978-32-1155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 カジワラファーム (本社)
事業場の所在地	大分県宇佐市大字下乙女403番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	鶏 45,000羽
③ 従業員数	26名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・動物のふん尿 - 自ら堆肥化 ・動物の死体 - 化製場への委託処理

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

- ・ 場長（廃棄物統括責任者）
  - ・ 廃棄物処理方針の決定
  - ・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
- ・ 事務員（廃棄物実務担当者）
  - ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 委託契約の締結事務
- ・ 産業廃棄物管理票の交付・管理
- ・ 行政等への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1, 232 t	3 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1, 232 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1, 232 t	3 t
	(これまでに実施した取組) ・堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1, 232 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	450 t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	450 t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・動物のふん尿は今後も自らが堆肥化していく ・動物の死体は今後も化製場に委託し処理していく		
※事務処理欄			